



## 不確実性の時代に、業界における機会を見出せる国 A land of industry opportunities in times of uncertainty

第17回AVCJプライベート・エクイティ&ベンチャー・ジャパン・フォーラムが6月22日、23日に東京で開催されます。これは日本で開催される最も重要な国際オルタナティブ投資会議です。世界のプライベート・エクイティやベンチャー・キャピタル、その他のプライベート・マーケットにおける投資の機会への資本のコミットを積極的に検討している200超の日本の機関投資家と対話する機会をGPに提供いたします。AVCJジャパン・フォーラムにご参加いただき、最新の市場トレンドやLPの動向、資金調達の機会について、世界の350超の業界の重鎮とお話してください。

The 17th Annual AVCJ Private Equity and Venture Japan Forum return to Tokyo on June 22 & 23 this year. It is the premier international alternative investments conference in Japan and offers GPs with the opportunity to meet with over 200 institutional investors actively looking to source private market investment opportunities across the globe. Join the AVCJ Japan Forum to debate the latest market trends, LP developments and fundraising opportunities with over 350 senior industry figures from across the globe.

### フォーラムレビュー 2015 Forum key statistics

 **350**  
Delegates

 **13**  
Countries

 **50+**  
Speakers

 **200+**  
LPs

 **11**  
Exclusive Panel  
Discussions



開催言語: 日本語および英語通訳同時あり Simultaneous translation between Japanese and English will be available throughout the event



# スポンサー協賛企業 Sponsors

リード・スポンサー Lead Sponsor



アジアシリーズ・スポンサー Asia Series Sponsor



協賛スポンサー Co-Sponsors



Advantage Partners



Brookfield

CLEARWATER  
CAPITAL PARTNERS



HARBOURVEST

J-STAR

LexingtonPartners



TATA  
OPPORTUNITIES  
FUND

THE  
LONGREACH  
GROUP



リーガル・スポンサー Legal Sponsor

NAGASHIMA OHNO & TSUNEMATSU

後援 Supporting Organisations



フィランソラピー・パートナー Philanthropy Partners



メディア・パートナー Media Partners



スポンサーに関するお問い合わせ Sponsorship enquiries:

Darryl Mag 電話 T: +852 2158 9639 電子メール E: Darryl.Mag@avcj.com

オンライン登録: [avcjapan.com](http://avcjapan.com) • Register online at: [avcjapan.com](http://avcjapan.com)

# 講演者 Speakers

Keep up-to-date with confirmed speakers at [avcjapan.com](http://avcjapan.com)  
最新の講演者ラインアップについては、[avcjapan.com/jp](http://avcjapan.com/jp)にてご覧ください。

## 基調講演 Keynotes



長門 正貢 Masatsugu Nagato  
取締役兼代表執行役社長  
日本郵政株式会社  
President and CEO  
JAPAN POST HOLDINGS CO. LTD



キャシー 松井 Kathy Matsui  
副会長、グローバル・マクロ調査部アジア部門統括、  
チーフ日本株ストラテジスト  
ゴールドマン・サックス証券株式会社  
Vice Chair, Co-Head of Macro Research in Asia  
& Chief Japan Equity Strategist  
GOLDMAN SACHS JAPAN

## 機関投資家 Limited Partners



Troy Barnett  
Partner  
ADAMS STREET PARTNERS



Kirk M. Beaton  
Partner  
LEXINGTON PARTNERS



福山 公博 Kimihiro Fukuyama  
Deputy Director General, Growth &  
Cross Border Investment Dept.  
日本政策投資銀行  
DEVELOPMENT BANK OF JAPAN



伊藤 武 Takeshi Ito  
シニア・ポートフォリオ・マネージャー  
アイシン企業年金基金  
Senior Portfolio Manager  
AISIN EMPLOYEES' PENSION FUND



Peter Kim  
Principal  
COLLER CAPITAL



Takako Koizumi  
Senior Investment Manager  
RESONA BANK



久保 達哉 Tatsuya Kubo  
マネージング・ディレクター  
ハーバーベスト・パートナーズ・ジャパン・リミテッド  
Managing Director  
HarbourVest Partners (Japan) Limited



増田 徹 Toru Masuda  
投資金融開発部長兼PEチーム長  
三井住友信託銀行  
General Manager of Investment Product Development  
Department and Head of Private Equity  
SUMITOMO MITSUI TRUST BANK



松尾 匡 Tadasu Matsuo  
市場投資部 オルタナティブ投資統括部長  
大同生命保険株式会社  
General Manager, Alternative Investment  
DAIDO LIFE INSURANCE COMPANY



Alexander Pestalozzi  
Managing Director, Asia Office  
MUELLER ASIA LIMITED



Sam Robinson  
Managing Partner  
NORTH-EAST PRIVATE EQUITY



崔 勇 Isamu Sai  
パートナー、東京  
ADAMS STREET PARTNERS  
Partner, Tokyo  
ADAMS STREET PARTNERS



高田 創一 Soichi Sam Takata  
プライベートエクイティ運用部長  
東京海上アセットマネジメント株式会社  
Head of Private Equity  
TOKIO MARINE ASSET MANAGEMENT



竹内 丈二 Joji Takeuchi  
Co-Head, Private Asset & Alternative Investments  
MIZUHO ASSET MANAGEMENT



鳥居 健吾 Kengo Torii  
ポートフォリオ・マネージャー  
デンソー企業年金基金  
Portfolio Manager  
DENSO PENSION FUND



八木 博一 Hiroichi Yagi  
常務理事  
セコム企業年金基金  
Board Director  
SECOM EMPLOYEE'S PENSION FUND



安岡 善朋 Yoshitomo Yasuoka  
Deputy Director of Private Equity Investment  
JAPAN POST BANK

オンライン登録: [avcjapan.com](http://avcjapan.com) • Register online at: [avcjapan.com](http://avcjapan.com)

# 講演者 Speakers

Keep up-to-date with confirmed speakers at [avcjapan.com](http://avcjapan.com)  
最新の講演者ラインアップについては、[avcjapan.com/jp](http://avcjapan.com/jp)にてご覧ください。

## 業界専門家 Senior Industry Professionals



赤池 敦史 Atsushi Akaike  
代表取締役社長 パートナー  
CVC CAPITAL PARTNERS  
Partner  
CVC CAPITAL PARTNERS



荒川 暁 Satoru Arakawa  
パートナー  
J-STAR株式会社  
Partner  
J-STAR CO., LTD.



馬場 勝也 Katsuya Baba  
オペレーティング パートナー  
株式会社アドバンテッジパートナーズ  
Operating Partner  
ADVANTAGE PARTNERS, INC.



坂野 且典 Katsunori Banno  
パートナー  
Partner  
ERM JAPAN



Nicholas Bloy  
Managing Partner  
NAVIS CAPITAL PARTNERS



Paul Ford  
パートナー (ディールアドバイザー)  
株式会社KPMG FAS(東京)  
Partner  
KPMG FAS CO.



Vikram Gupta  
Founder & Managing Partner  
IVYCAP VENTURES ADVISORS



原 緑郎 Gregory Hara  
代表取締役社長  
J-STAR株式会社  
President and Representative Director  
J-STAR CO., LTD.



平野 博文 Hiro Hirano  
代表取締役社長  
KKRジャパン  
Member and Chief Executive Officer  
KKR JAPAN



Hanji Huang  
Managing Director, China  
L CAPITAL ASIA



飯沼 昭 Akira Iinuma  
パートナー, CIO  
ポラリス・キャピタル・グループ株式会社  
Partner, Chief Investment Officer  
POLARIS CAPITAL GROUP



木村 雄治 Yuji Kimura  
代表取締役社長  
ポラリス・キャピタル・グループ株式会社  
Founder, President and CEO  
POLARIS CAPITAL GROUP



Sakura Koumi  
Vice President, Infrastructure Team  
MIZUHO BANK



森 郁夫 Ikuo Mori  
マネージングディレクター  
ディールアドバイザー 兼国内M&A業務統括  
株式会社KPMG FAS  
Managing Director - Deal Advisory and Head of  
M&A for Japan, KPMG FAS CO.



永露 英郎 Hideo Nagatsuyu  
シニア パートナー  
アドバンテッジパートナーズ  
Senior Partner  
ADVANTAGE PARTNERS



Ryo Okubo  
Partner  
NAGASHIMA OHNO & TSUNEMATSU

# 講演者 Speakers

Keep up-to-date with confirmed speakers at [avcjjapan.com](http://avcjjapan.com)  
最新の講演者ラインアップについては、[avcjjapan.com/jp](http://avcjjapan.com/jp)にてご覧ください。

## 業界専門家 Senior Industry Professionals



✓ Bobby Pauly  
Partner  
TATA OPPORTUNITIES FUND



✓ Robert Petty  
Managing Partner and Co-Founder  
CLEARWATER CAPITAL PARTNERS



✓ Jean Eric Salata  
Chief Executive and Founding Partner  
BARING PRIVATE EQUITY ASIA



✓ 澤山 陽平 Yohei Sawayama  
パートナー  
Partner  
500 STARTUPS



✓ Mitchell J. Stack  
Managing Director  
BAIN CAPITAL CREDIT



✓ 高宮 慎一 Shinichi Takamiya  
Partner and Chief Strategy Officer  
グロービス・キャピタル・パートナーズ  
Partner and Chief Strategy Officer  
GLOBIS CAPITAL PARTNERS



✓ 棚橋 俊介 Shunsuke Tanahashi  
代表取締役社長  
アーク東短オルタナティブ株式会社  
Chief Executive Officer  
ARK TOTAN ALTERNATIVE CO. LTD.



✓ 津坂 純 Jun Tsusaka  
Managing Partner, Chief Investment Officer and  
Founding Member  
株式会社日本産業推進機構  
NIPPON SANGYO SUISHIN KIKO (NSSK)



✓ 吉沢 正道 Masamichi Yoshizawa  
代表取締役兼パートナー  
株式会社ロングリーチグループ  
Representative Director and Partner  
THE LONGREACH GROUP



✓ Tim Burroughs  
Managing Editor  
ASIAN VENTURE CAPITAL JOURNAL



2016年6月22日(水曜日)

## 8.00 LP登録とリフレッシュメント

### 8:30-9:30 LP限定セッション: プライベート・エクイティの理解と投資

招待者  
限定

プライベート・エクイティ (PE) のファンダメンタルズ、ならびに均衡の取れたリスク調整済みプログラムをゼロから構築するために機関投資家が採用する戦略を学ぶべく、この資産クラスの新規参入者に理想的なアリーナを提供するセッションです。

参加者は、熟練したLPと、プライベート・マーケット投資に関する懸念・経験を共有することができましょう。また、プログラムの効率的な開始・管理や、成功するための正しい投資の選択に関するヒントを聞くことができます。

このセッションは、安心して話を打ち明けられる環境で、同業者からPEについて直接話を聞くための、またとない機会をLPに提供しましょう。同業者の多くは、日本や世界市場での投資や、GP、ファンド・オブ・ファンズ、アドバイザーとの協業において長年にわたる実績を有しております。現時点でコミットメントを有するLPと、業界についてもっと多くのことを知ることを望むアロケーションを持たないLPが参加対象です。

- 年金ファンドはどのようにプログラムを始めることができるのか。アドバイザーを起用すべきか。
- GPのデューデリジェンスを行う際、何を探すべきか。GPはどのように選ぶのか。
- PEは他の資産クラスと異なるといえるか。LPが理解する必要のあるファンダメンタルズは何か。
- 手数料や条件について知っておくべきことは、GPは交渉に応じるか。
- リスク調整済みグローバル・ポートフォリオを構築すべく、いかにプログラムを時間をかけて発展させるか。
- PE、ならびにPEが擁する循環的かつ非流動的な性質に対し、いかなるリターンをLPは期待すべきか。
- 向こう5年間で最も有望な市場と戦略は。
- 海外のGPに投資をする際、通貨不安をいかに和らげるか。

## 9:00 主要カンファレンス登録及び休憩 (リフレッシュメント)

### 9:30 基調演説

#### 10:00 グローバル・ビュー: 2016年以降における、PEを方向付ける力

株式市場の不確かさと世界中の政治的不安定さは、PE投資家、とりわけ新興国市場の投資家が、過去数年よりもより慎重なアプローチをとる可能性があることを意味しています。しかし、困難なマクロ条件は、バリュエーションが低い魅力的な案件やデストレス状態の機会を発見することが可能な投資家にとっての機会へと変わります。このセッションでは、主要な業界専門家と構成されるパネルが、今後2年間の戦略と、市場と政治がもたらす課題をいかに乗り切る計画であるかを話します。

- 2016/2017年の地域の見通しはいかなるものであるか、案件の額が最大になりそうな市場はどこか。
- 2016年において、世界的なPE機関を運営するために必要なスキルは何か。
- 中国がくしゃみをすれば、残りの世界が風邪を引くのか。
- LP基盤はいかに変化したのか、現在、PEへの大型コミットメントはどこから来るのか。
- 世界のマネジャーらは現在、日本をいかに見ているのか、メガ・ファンドがラージ・キャップ案件にアクセスするためのパイプラインと機会は日本に存在するののか。

## 11:00 ネットワーキング・コーヒープレイク

#### 11:30 日本のプライベート・エクイティ: 2016年の市場の状況

公平なバリュエーション、力強いエグジット、後継者案件がまった流動性のあるパイプライン、多数の取引、ストラテジックとセカンダリーのバイヤー、成長しつつあるLP市場、ラージ・キャップの買収案件の増加(わずかではあるが)。これらは日本のPEがポジティブな時期にあることを示しています。しかし、アベノミクスの手詰まり感、株式・通貨市場の乱高下、GP10機関までの資金調達などを受け、PEは2016年、楽観的な期間を継続することが可能なのでしょうか。

- 中小規模のプレーヤーは今後1年間の業界をどう見ているのか。
- 案件に対する競争が激化し、バリュエーションが2桁に到達するリスクはあるのか。
- アウトバウンドM&Aにとって最も魅力的な海外市場はどこか、その理由は。
- 日本のコーポレートガバナンス・コードは本当に変化をもたらすのか。GPは新たな資金プールをどこに見出すのか、地銀か、同族企業か、年金基金か。

### 12:15 特別演説

## 12:45 ネットワーキング・ランチ



#### 13:45 セクター・ハilight: 冷え込んだ市場でホットスポットを見つける

世界が低成長期を迎えるなか、会社の成長を目論む投資家は、リターンを実現させる消費者需要が存在するセクターを見出す必要があります。

- エグジットにおいて、この1年で特に良好なパフォーマンスを示したセクターは何か。
- 低いマルチプル、積極的な売り手、価格に敏感ではない買い手が存在する場所とは。
- 向こう10年間に需要が見込まれる産業・セクターについて、日本の人口動態と消費者ニーズがわれわれに教えていることは。
- 最も活動的なGPはどこに資本を投じているのか。

#### 14:30 ポートフォリオ・スポットライト: 被投資会社の価値を押し上げるべく、PEはこれらの会社といかに協業するか

近年、後継者プランを検討する日本企業—退職者、起業家の双方とも—は、PE会社と有望なパートナーであることを認識するようになりました。ミッドマーケットにおいては、膨大な数の案件をこのタイプの売り手が出しています。しかし、以前は違いました。日本企業の創業者はかつて、PEを疑いの眼差しで見えていたのです。この極めて実用的なセッションで、ポートフォリオ企業の幹部とGPは、事業を成長させるためにいかに協業したか、また互いの関係をいかに管理したかについて、経験や所見、コツを共有します。

- マクロ経済が抑制するも、事業をいかに押し上げたか。
- 創業者が今日、事業を進んでGPに手渡す理由は。
- PEが新オーナーであると発表された際にいかなる問題と懸念が生じ得るか。また、いかにしてこれを和らげるか。
- 制御の問題がいかに重要であるか、事業を方向付ける決定が重役レベルでいかに下されるか。

## 15:15 ネットワーキング・コーヒープレイク



#### 15:45 国内LPの見方: オルタナティブ資産プログラムの実現

日本のLPはより高いリターンを求めて、オルタナティブ資産の機会を調べ始めたり、同資産にコミットし始めたりしています。しかし、そのプロセスは緩慢です。なぜならこの種類の投資における非流動性やリスク、期間の長さといった問題にLPは向き合っているからです。このセッションでは、国内の主要投資家と構成されるパネルが投資戦略、ポートフォリオ構築の方針、PEコミュニティへの大規模なコミットメントを伴う意味のあるプログラムを国内プレーヤーが立ち上げる時期に関する見方を話します。

- 資金調達の際、国際ファンドは国内LPにいかにアプローチすべきか。
- 日本のLPは国内と世界の投資プログラムの双方を運用する能力を持ち合わせているか。
- LPがPEプログラムの開始を検討する際、何を期待するのか。
- LPがPE投資への最初の一步を踏み出す際、それを助けるためのパートナーとアドバイザーをいかに選択するか。
- この資産クラスへの意味のあるコミットメントをわれわれが目撃するのはいつになるか。それは国際的な動きになるのか、それとも単に国内の動きになるのか。

16:30

## ベンチャー・アウトLOOK:日本のスタートアップと投資家にとってのブーム

日本のVCの状況は、現行のプレーヤーと新参者に関して言えば、成熟と成長を継続しています。大企業がLPとしてこのエコシステムに対し資本をコミットしたり、日本の才能ある起業家を探すなかで、大企業が自社VCを開発したりするのをわれわれは目撃しています。VCにとってエキサイティングなこの時期、どのような種類の企業が国際市場にリーチするのでしょうか。また、競争は評価額を非常に高価な水準に押し上げるのでしょうか。世界に進出した日本のスタートアップの最近の成功話から、われわれは何を学べるのでしょうか。

- 日本で一層多くの企業がベンチャー・ファンドを立ち上げるのを目撃する可能性は高いのか。
- 現在、ホットなセクターと産業は何か。最も興味深いスタートアップ・アクティビティを擁しているのはどの地域か。
- VCが支援する企業のエグジットはどこにあるのか。
- この産業への資金拠出におけるLPの支持はどの程度なのか。世界のLPは資本をコミットしているのか。

17:15

## リード・スポンサー及びカクテル・レセプションホストからの初日閉会の辞 カクテル・レセプション



## 2016年6月23日(木曜日)

8:30

### 登録とリフレッシュメント

8:55

### オープニングの挨拶

9:00

### 基調演説

9:30

## インフラ投資のための正しいパートナーと地域の選択

日本の投資家はインフラ投資に積極的です、特に海外においてその傾向が強く、海外の空港や鉄道、その他のインフラ計画を検討しています。この資産クラスはまた、オルタナティブ投資領域に参入する国内機関投資家にとっての、PEに関与する前のエントリーポイントとみなされています。年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)は、オンタリオ州公務員年金基金(Ontario Municipal Employees Retirement System)、および日本政策投資銀行(DBJ)との共同投資案件で、向こう5年間にインフラ資産に対し、最大27億米ドルの出資をコミットすることでこの道を通しました。

- インフラ投資においてアジアで最も活発な市場はどこか。先進国市場と新興国市場の間で機会はいかに異なるのか。
- 伝統的なPEを手掛けるGPはインフラから撤退したのか。このことは機会に結びついたのか。
- 政府のイニシアチブは新たなインフラの機会をいかに開いているのか。
- 日本のLPはインフラ市場をどのように見ているのか。これは実際に、より幅広いオルタナティブ計画への一歩なのか。
- 投資家はいかに民営化案件にアクセスできるのか。プロジェクト・ファイナンスは成長している領域なのか。

10:15

## ネットワーキング・コーヒーブレイク



10:45

## ESGスポットライト:ファンドの能力測定に際し、LPは何を探すのかを見出す

日本のGPIは、金融・環境危機を管理し、良好な統治と業務慣例を確かにするためのESGフレームワークの実施に関して、最も前向きな考えを持ち、かつ積極的です。十分な知識を持っていない方のために説明しておきますと、包括的ESGフレームワークは、ファンドの評判を高めることが可能で、より広範なLPのプールを集めたり、最高のエグジットマルチプルを達成を支援したりするものです。この教育的なセッションで、LPとGPで構成されるパネルが、ESGとこれがもたらす機会に、いかに、いつ目を向けるのか、洞察を共有するでしょう。

- ESGとは何か、GPはなぜESGに焦点を合わせるべきなのか。
- 日本に特有のリスクは何か、投資を守るために、ESGをいかに使用すべきか。
- 環境リスクを管理し、良好な業務慣例を確かにするために、ESGをいかに使用すべきか。
- アジアのGPは欧州のGPから何を学べるのか、ESGのより広範な開示と基準を現地ファンドに求めるLPの数は増えているのか。

11:30

## アジア・ビュー:市場トレンドとマクロの変化がアジアにいかに関与を及ぼすか

この地域のプライベート・エクイティは興味深い時期にあります。マクロ経済と政治が不安定であるにも関わらず、世界の他の地域に比べ、この地域の成長ストーリーは今でも魅力的です。確かに、中国の不安定さに関連した記事の見出しにより、投資コミュニティ全体に波紋が広がっています。また、2016年の慎重な投資センチメントは、この地域が近年享受してきたポジティブなセンチメントを損なっています。しかし、政治の安定がより確実になっている様子が見え、また、市場が成熟するなか、過去の教訓は学べるのでしょうか。投資環境はいかにして魅力的であり続けるのでしょうか。

- どの市場とセクターが成功に向けた最高の機会を提供するのか。
- マクロ経済と政治の状況は、戦略的な計画にいかに関与を及ぼすのか。
- 将来的にみた場合、どのセクターと地域が2020年に最高のパフォーマンスをもたらすか。
- 人気の投資先として、インドは中国を追い抜くだろうか。LPは再び強気なのか。
- アジアのどこでGPは最高の異種源泉を見つかるのか。ディストレストとスペシャル・シチュエーションは利益を生んでいるのか。

12:15

## ネットワーキング・ランチ



13:00

## オルタナティブに対する注目:PE Jカーブを和らげるための戦略

日本の多くの機関がプライベート・エクイティに資本を積極的にコミットさせており、さらに多くの機関が選択肢を見直し、この資産クラスの性質を評価しています。こうした潜在的LPの多くが、Jカーブ効果によって投資を阻まれています。ポートフォリオにおけるJカーブへの取り組みを支援する、PEやVCファンド以外の選択肢を紹介するため、多様なオルタナティブ投資領域のトップGPをパネルに招集しました。こうした選択肢には以下を含みます。

- セカンダリー
- デットとスペシャル・シチュエーション
- クレジット

13:45

## グローバル・オルタナティブLP:パートナーの選択とポートフォリオの組成をいかに行うか

- LPは利回りだけを追求するのか、それとも地理的なフォーカスは依然として重要なのか。
- マネジャーの選択は、今日では関係性よりもパフォーマンスの分析性が重視されるのか。
- 日本でのファンドの規模におけるスイート・スポットはどこか?最新ビンテージは良好なリターンを生んでいるのか。
- 最も大きな投資収益をもたらす可能性があるとLPが眺むのはどのセクターか。
- 日本を視野に入れている外資のLPにとって、書類や報告書の作成の際、言葉と文化の壁は大きな問題になるのか。
- 日本のファンドの規模は、外資のLPによるコミットを難しくしているのか。

14:30

## 閉会



最新のプログラムについては、  
[avcjjapan.com/jp](http://avcjjapan.com/jp) にてご覧ください。



# Programme

Simultaneous interpretation in Japanese and English

Wednesday, 22 June 2016

**8:00 LP Registration and refreshments**

**8:30 - 9:30 LP-only session: Understanding and investing in the asset class**

**INVITATION ONLY**

This session will provide the ideal arena for new entrants to the asset class to learn the fundamentals of private equity and strategies that institutional investors employ to build a balanced risk-adjusted programme from scratch.

Participants will be able to share their concerns and experiences about investing in private markets with senior LP colleagues and hear tips for effectively initiating and managing their programme while making the right investment choices to succeed.

The session will provide LPs the unrivalled opportunity to hear first-hand about PE from their peers, many of whom have decades of experience in investing in the Japanese and global market and working with GPs, funds of funds and advisors, in a confidential setting. Attendance is open to LPs with current commitments and to those without allocations who wish to find out more about the industry.

- How can pension funds initiate a programme? Should you use an advisor to assist?
- What should you look for when performing due diligence on a GP and how do you select a GP?
- How does PE compare with other asset classes and what are the fundamentals that LPs need to understand?
- When it comes to fees and terms, what are the expectations and are GPs responsive to negotiations?
- How do you develop a programme over time to create a risk-adjusted global portfolio?
- What returns should LPs expect for PE and the cyclical and illiquid nature of the asset class?
- Which markets and strategies show the most promise over the next five years?
- How do you mitigate against currency when investing in a foreign GP?

**9:00 Main conference registration and refreshments**

**9:30 Keynote address**

**10:00 The global view: The forces that will shape private equity in 2016 and beyond**

Uncertainty in the stock markets and political instability around the world mean PE investors, especially in the emerging markets, may take a more cautious approach than in recent years. However, challenging macro conditions can translate into opportunity for investors that can uncover attractive deals at lower valuations and distressed opportunities. In this session a panel of leading industry professionals will discuss their strategy for the next two years and how they plan to navigate market and political challenges.

- What is the 2016/2017 outlook for the region, and where will we see the largest volume of deals?
- What skill set do you need to run a global private equity institution in 2016?
- If China sneezes, will the rest of the world catch a cold?
- How has the LP base changed, and where do the big commitments to private equity come from now?
- How are the global managers viewing Japan right now, and is the pipeline and opportunity there for the mega funds to access large cap deals?

**11:00 Networking coffee break**



**11:30 Japan private equity: The state of the market in 2016**

Fair valuations, strong exits, a fluid pipeline of succession majority deals, numerous trade, strategic and secondary buyers, a growing LP market and an increase (albeit only slight) in large cap buyout deals point to this being a positive period for the asset class in Japan. However, with Abenomics struggling, fluctuations in the stock and currency market and upto 10 GPs fundraising in 2016, can private equity continue its period of optimism?

- How do small to mid-market players see the next 12 months for the industry?
- Is there a risk that valuations may reach double digits as competition for deals intensifies?
- Which overseas markets are most attractive for outward M&A and why?
- Will Japan's corporate governance code really drive change?

**12:15 Executive address**

**12:45 Networking lunch**



**13:45 Sector highlights: Finding the hot spots in a cool market**

As the world experiences a low-growth period, for investors looking to grow companies it is critical that they uncover the sectors where consumer demand will deliver returns. In Japan there are a number of sectors that investors believe are attractive based on present and future economic and demographic trends. In this session a panel of seasoned investors will share the sectors they will be betting on and why they believe they can outperform in a flat market.

- Which sectors have performed particularly well in the last 12 months for exits?
- Where are we still seeing low multiples, willing sellers and non-price-sensitive buyers?
- What do demographic and consumer needs in Japan tell us about the industries and sectors that will be in demand over the next decade?
- Where will the most active GPs be deploying their capital?

**14:30 Portfolio spotlight: How PE works with its investee companies to drive value**

In recent years, Japanese companies looking at a succession plan—both retirees and entrepreneurs—have found PE firms to be viable partners, and the vast number of deals in the mid-market have come from this type of seller. This was not always the case, as Japanese business founders once viewed the asset class with suspicion. In a highly practical session, executives from portfolio companies and GPs will share their experiences, observations and tips on how they worked together to grow the business and how they managed their relationship.

- How did they manage to scale the business given macro-economic restraints?
- Why are company founders now willing to pass their business into the hands of a GP?
- What issues and fears are likely to arise when PE is announced as the new owner and how can you mitigate them?
- How important is the control issue, and how are decisions taken at an executive level that shape the direction of the business?

**15:15 Networking coffee break**



**15:45 Domestic LPs' views: The realisation of an alternative asset programme**

Japan's limited partners are beginning to both examine the opportunity and commit to alternative assets in the hunt for higher returns. However, the process is a slow one as LPs get to grips with the illiquidity, risk and long timeframe of this style of investment. In this session, a panel of leading domestic investors will discuss their investment strategy, portfolio construction philosophies and thoughts on if and when we will see the local players launch a meaningful program that involves large commitments to the PE community.

- How should international funds approach domestic LPs when fundraising?
- Do Japanese LPs have the talent to manage both a local and a global investment programme?
- What are the expectations of LPs as they look to initiate a PE programme?
- How do LPs select the partners and advisors to help them take the first steps into PE investments?
- When will we see a meaningful commitment to the asset class, and will this be a global or just a domestic play?

オンライン登録: [avcjapan.com](http://avcjapan.com) • Register online at: [avcjapan.com](http://avcjapan.com)



# Programme Simultaneous interpretation in Japanese and English

## 16:30 **Venture outlook: Boom times for Japanese start-ups and investors**

The Japanese VC landscape in terms of current players and new entrants continues to mature and grow. We are witnessing large corporations committing capital to the ecosystem as LPs, as well as developing their own venture funds as they look for the talented entrepreneur's in Japan. So at this exciting time for the asset class, what type of companies will reach an international market, will competition drive up valuations too high and what can we learn from the recent success stories of Japanese Start-ups that went global.

- ▀ Are we likely to see more corporates launching dedicated venture fund in Japan?
- ▀ Which sectors and industries are hot at the moment, and which locations have the most interesting start-up activity?
- ▀ Where are the exits for VC-backed companies?
- ▀ How supportive are LPs in funding the industry and are global LPs committing capital?

## 17:15 **Day one closing remarks from Lead Sponsor and Cocktail Reception Host Cocktail reception**



## Thursday, 23 June 2016

### 8:30 **Registration and refreshments**

### 8:55 **Opening remarks**

### 9:00 **Keynote address**

## 9:30 **Selecting the right partners and geographies for infrastructure investments**

Japanese investors have been active in infrastructure plays, especially overseas as they look outbound at airports, rail and other infrastructure projects. This asset class is also viewed as an entry point for domestic institutional investors into the alternative investment arena before committing to private equity. GPIF took this route by committing to invest up to USD2.7bn in infrastructure assets over the next five years in a co-investment deal with Ontario Municipal Employees Retirement System and Development Bank of Japan.

- ▀ Where are the most active markets in Asia for infrastructure? How do opportunities differ between the developed versus developing markets?
- ▀ Have traditional private equity GPs pulled back from infrastructure? Has this led to more or less opportunity?
- ▀ How are government initiatives opening up new infrastructure opportunities?
- ▀ How do Japanese LPs view the infrastructure market, and is this really a first step into a wider alternatives programme?
- ▀ How can investors access privatisation deal and is project finance an area that is growing?

## 10:15 **Networking coffee break**



## 10:45 **ESG spotlight: Discover what LPs look for when measuring a fund's capabilities**

Japanese GPs have been among the most forward thinking and proactive when it comes to the implementation of an ESG framework to manage financial and environmental risks, and ensuring good governance and business practices. For the uninitiated, a comprehensive ESG framework can enhance your funds reputation, enable you to attract a wider pool of LPs and help you achieve the best exit multiples. In this educational session a panel of LPs and GPs will share why, how and when they look at ESG and the opportunities it creates.

- ▀ What is ESG and why should GPs focus on it?
- ▀ What are the risks that are specific to Japan, and how can ESG be used to safeguard your investments?
- ▀ How can ESG be used to manage environmental risks and ensure good working practices?
- ▀ What can Asia GPs learn from their European counterparts?
- ▀ Are increasing numbers of LPs asking for greater disclosure and standards of ESG from local funds?

## 11:30 **The Asia view: How market trends and macro challenges will affect the region**

Private equity in the region is in an interesting period. Despite macroeconomic and political instabilities, the growth story is still attractive in comparison with the rest of the world. Admittedly, the headlines relating to instabilities in China are sending ripples throughout the investment community and a cautious investor sentiment in 2016 has dampened the positive sentiment that the region felt in recent years. However, as political stability seems more assured and markets mature, will lessons from the past be learned and how will the investment landscape evolve to remain attractive?

- ▀ Which markets and sectors provide the best opportunities for success?
- ▀ How does the macroeconomic and political situation affect strategic planning?
- ▀ Looking forward, which sectors and regions will be best placed to deliver in 2020?
- ▀ Will India overtake China as the hot ticket for investment, and are LPs bullish once more?
- ▀ Where in Asia are GPs finding different sources of alpha? Is distressed and special situation paying dividends?

## 12:15 **Networking lunch**



## 13:00 **Spotlight on alternatives: Strategies for mitigating the PE J-Curve**

While many Japanese institutions are actively committing capital to private equity, even more are still reviewing their options and weighing up the attributes of the asset class. Many of these potential LPs are deterred by the J-Curve effect. This panel brings together top GPs from diverse alternative investment disciplines to showcase other options besides PE and VC funds that help combat the J-Curve in their portfolio, including:

- ▀ Secondaries
- ▀ Debt and special situations
- ▀ Credit

## 13:45 **The global alternatives LP: How you select partners and create a portfolio**

- ▀ Are LPs on the hunt only for yield, or is geographic focus still important?
- ▀ Is manager selection now less about relationships and more about performance analytics?
- ▀ What is the sweet spot for fund size in Japan? Is the latest vintage delivering good returns?
- ▀ Which sectors do LPs view as potentially the most lucrative for investment?
- ▀ Are language and cultural barriers a major issue for foreign LPs looking at Japan when it comes to documents and reporting?
- ▀ Do fund size in Japan make it difficult for a foreign LP to commit?

## 14:30 **Close of conference**



For the latest programme visit:  
[avcjJapan.com](http://avcjJapan.com)